

V-3 北陸地域政策研究フォーラム ～地域政策としてのジオパーク～

北陸地域の研究者の交流、研究シーズの発掘、共同研究の推進、研究成果の社会への還元を目的につられた北陸地域政策研究フォーラムは、2019年12月14日石川県文教会館にて開催された。今年度も北陸地域政策研究フォーラムに加え、地域公共政策学会、地域デザイン学会関西・北陸地域部会との共催による開催となった。

当日のプログラムは以下の通りである。

■自由論題Ⅰ 地域ブランド

報告1 「宇宙をテーマとした福井県の新しいブランド化の可能性」

段野聡子（安田女子大学）

報告2 「北陸地域における知的クラスター形成過程の特徴」

小林俊哉・永田晃也（九州大学）

報告3 「若者による北陸三県のイメージカラーに関する一考察」

江川誠一（福井県立大学）

■自由論題Ⅱ 地域環境

報告1 「金沢市の用水路を取り巻く地域政策」

坂村圭（北陸先端科学技術大学院大学）・北畠拓也（東京工業大学）

報告2 「水田農業における地域差を考慮した農地集積の功罪に関する研究」

金平健世・森澤健作・山下良平（石川県立大学）

報告3 「暮らしの質に関する指標とその応用例について」

松山淳（富山大学）

■自由論題Ⅲ 観光・交流

報告1 「あわら市の観光復興策の考察」

小林和夫（あわら市役所）

報告2 「富山県呉西地区における産業観光の実態とその可能性」

安嶋是晴（富山大学）

報告3 「北陸の山村で暮らす力を養う人材育成」

奥敬一（富山大学）

■自由論題Ⅳ 地域経済

報告1 「直営と開拓の問題」

北島啓嗣（福井県立大学）

報告2 「かんでんばば・大門素麺・加賀棒茶・明宝ハムの販路拡大」

中里弘穂（福井県立大学）

報告3 「北陸三県のISバランスについて」

小柳津英知（富山大学）

■自由論題Ⅴ 地域デザイン

報告1 「地方圏における経営者人材の多様性」

近藤智士（福井工業大学）

報告2 「公共交通における案内情報の整備と事業者間連携による交通デザイン
統一の試み」

井上学（立命館大学）

報告3 「金沢市における観光需要の増加に伴う都市の変容」

池田千恵子（大阪成蹊大学）

共通論題 地域政策としてのジオパーク

基調講演 「ジオパークの上手な使い方」

斉藤清一（NPO 日本ジオパーク事務局）

報告1 「まちなかジオツアーで健康づくり」

安江健一（富山大学）

報告2 「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパークにおける地域住民を巻き込んだ活動」

町澄秋（勝山市）

報告3 「白山市における白山手取川ジオパークの位置づけとその意義」

日比野剛（白山手取川ジオパーク推進協議

会）

コメンテーター 井上学（立命館大学）

年々報告者が増加しており、分科会を午前・午後あわせて5つ用意した。報告者の増加につれて参加者も増えており、今年度は51名の参加があった。参加地域も北陸3県に限定されず広がる傾向にある。北陸地域の研究者の交流を超えたフォーラムになりつつあることは喜ばしい反面、事務局体制等運営面などの改善も今後の課題となっている。

次年度は福井での開催を予定している。

（文責：森山治）